



## コメディカルのための認知症対応力向上研修 開催のご案内

今後、認知症の人がますます増えることが予測されています。認知症の人が入院・入所した際に大切なことは、「出来るだけBPSDを誘発しないこと」です。認知症のケアにおいて時間がかかる重介護状態のひとつは言うまでもなくBPSDですが、BPSDが誘発されてからも、薬物療法だけでなく非薬物療法によって症状を軽減することができます。また、対応のしかたでBPSDの誘発を予防することもできます。褥瘡や低栄養の予防と同様に、BPSDは起きてからではなく起きる前の対応が重要です。しかし現場ではまだまだBPSDが「作られて」いる現状があり、医療現場における大きな課題となっています。そこで、病院・施設においてBPSDを誘発しない対応を行うことができるスタッフの養成を目的に、認知症の人への“対応力”を向上させる研修会を企画いたしました。BPSDを誘発させない良質な慢性期医療を提供していくためにも、本研修への奮ってのご参加をお待ちしております。

●診療報酬上の「認知症ケア加算1・2」の加算要件を満たすものではありません。

### 日 程

平成29年8月26日(土) 9:50~17:30

### 場 所

AP東京八重洲通り 東京都中央区京橋1-10-7 KPP八重洲ビル

### 定員・対象

80名 各病院、施設等で認知症者に対応する看護師と療法士等の医療従事者  
※参加条件として「同一事業所の看護師」の参加が必須です。

### 参加費

会員 8,000円 会員外 16,000円

※事前にお振込下さい。詳しくは、参加申込書の受理後にお送りする「申込確認書」をご覧ください。

### 主 催

日本リハビリテーション病院・施設協会

# カリキュラム

- 9:50~10:00 はじめに 本研修の目的  
講師:内田病院理事長 田中 志子
- 10:00~11:30 基本講義「認知症への対応 ~診断と治療編~」  
講師:群馬大学保健学研究科 教授 山口 晴保
- 11:30~12:30 昼食&交流 (アイスブレイク)
- 12:30~13:30 グループワーク1  
自院・自施設において「認知症」としか診断がついていない症例を持ちより、その患者さんの認知症タイプには、どのようなケアが適切かグループで話し合う
- 13:50~15:20 基本講義「認知症への対応 ~ケアの実際と連携、リハビリ編~」  
講師:内田病院理事長 田中 志子
- 15:30~16:30 グループワーク2  
自分たちは、専門職として認知症の人にとどう関わればよいか、関わることによって何がかわるか、だれがかわるかについて、グループで話し合う
- 16:30~17:15 グループ発表
- 17:15~17:30 質疑と総評

## 【ご参加にあたってのお願い】

- ・ 遅刻、早退、中抜けなどがある場合、修了証書を発行いたしかねます。
- ・ 本研修の「グループワーク1」において、施設内の認知症の症例について検討を行います。7月下旬頃に送付する参加案内に、症例の記入フォーマットを同封致しますので、事前に事務局までご提出ください。

参加申込書

申込  
締切

平成29年  
8月17日(木)

FAX  
返信先

日本リハビリテーション病院・施設協会事務局  
FAX.095(811)2078

会員	貴施設名		住所	
非会員			TEL. ( ) / FAX. ( )	
連絡担当者氏名		役職	E-mail	
参加者氏名 / ふりがな	職職	役職	性別	生年月日
	看護師		男・女	S H 年 月 日
			男・女	S H 年 月 日
			男・女	S H 年 月 日
			男・女	S H 年 月 日

- ※ 「同一事業所の看護師」の参加が必須です。
- ※ 修了証書発行の際、生年月日が必須となります。必ずご記入ください。